

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立中公民館	番号	29
--------	----------	----------	----	----

平成 19 年度

施設評価調書

施設の名称.....中 公 民 館

所管担当課.....下田市教育委員会
生涯学習課

平成 19 年 11 月

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立中公民館	番号	29
--------	----------	----------	----	----

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立中公民館		2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係						
3 所在地	下田市西中19番地13		4 設置年月	昭和33年4月1日 昭和50年3月改築						
5 総合計画の 位置付け	人財づくり	自ら学ぶ歴史のまちづくり	生涯教育							
	施策体系	学習環境の整備	学習施設の整備・充実							
	主要事業	公民館活動推進事業	地域に密着した学習プログラムの実施							
6 設置目的	社会教育法第20条の目的を達成するため 第20条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。									
7 設置根拠	下田市立公民館設置管理条例									
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 412.01 m ² 建物面積 延面積 500.76 m ² 1F 240.66 m ² 2F 260.10 m ² 構造 鉄骨2階建								
		1F 管理人室・料理実習室・小会議室・便所 2F 事務室・湯沸室・大会議室・研修室・便所								
	実施事業の概要	・公民館講座の実施 ・その他「社会教育法第22条(公民館の事業)」に基づくもの								
	料金体系	料金区分	会議室等使用料 大会議室(洋・和)・小会議室(洋・和)・調理室							
		主な料金	名称	使用単位	午前(9:00~17:00)		昼間(13:00~17:00)		夜間(18:00~21:00)	
					普通	入場料	普通	入場料	普通	入場料
					大会議室	洋 和	1回 につき	2,000円	4,000円	2,000円
小会議室	洋 和	1,000円	2,000円	1,000円	2,000円	2,000円		4,000円		
調理室		2,000円	-	2,000円	-	3,000円	-			
減免内容	(使用料の免除) 第10条 市長は、特に必要があると認めるときは、別表に定める使用料を減免することができる。 (1) 市の主催で使用するとき、又は国の機関若しくは地方公共団体が市と共催で使用するとき。(全額) (2) 公共団体の主催で法第20条の目的に基づき住民のために使用するとき、又は市内の保育所、幼稚園若しくは小・中学校の主催で、園児、児童、若しくは生徒の教育のために使用するとき。(全額) (3) 公立小・中学校(市内の公立小・中学校を除く。)若しくは公立高等学校の主催で、その目的が教育のために使用するとき、又は委員会が認めた社会教育関係団体の主催で、その目的が当該団体の設立目的のために使用するとき。(5割減額) (4) 国の機関又は地方公共団体の主催で、その目的が公共のために使用するとき。(3割減額) 全各号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。(3割減額)									
利用料金制度	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>									
施設運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営									
	指定管理者制度		指定管理者							
	一部委託		委託内容							
直接従事職員	下田市職員数 館長 1名									
9 市内の類似施設	下田市所有	他11公民館(社会教育法の規定による施設)								
	民間所有	地区集会所等(自治会管理の地域コミュニティ施設)								

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立中公民館	番号	29
--------	----------	----------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		平成18年度末残高			(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・残存価格1円 ・新築翌年度から償却 ・耐用年数 50年
	土地取得費		土地残高			
	建物取得費	48,000千円	建物減価償却後残高		千円	
	財源内訳	48,000千円				
	国・県支出金	5,400千円				
	市債	7,000千円	市債残高		0	
	一般財源	5,400千円				
	寄附金等	30,200千円				
物品(*万円以上)		物品減価償却後残高				
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H17年度決算 (12公民館)	H18年度決算 (12公民館)	H18年度決算 中公民館	H19年度予算 (12公民館)
	収入	使用料	1,377,600	1,398,902	42,000	1,300,000
	収入合計		1,377,600	1,398,902	42,000	1,300,000
	支出	1節 報酬	1,652,000	1,620,000	216,000	1,708,000
		7節 賃金	1,903,200	1,671,400	0	1,672,000
		8節 報償費	403,000	367,500	100,000	450,000
		9節 旅費	80,534	24,194	296	55,000
		11節 需用費	9,271,197	5,522,116	622,544	5,828,000
		消耗品費	354,895	200,000	16,164	198,000
		印刷製本費	27,000	0	0	72,000
		光熱水費	4,668,116	4,389,044	294,526	4,920,000
		下水道費	89,079	81,152	0	150,000
		燃料費	35,724	29,714	0	35,000
		修繕料	4,096,383	822,206	311,854	453,000
		12節 役務費	1,417,258	1,074,142	183,609	1,063,000
		13節 委託料	562,468	750,237	244,592	766,000
		14節 使用料	197,819	197,819	0	206,000
	19節 負担金	179,550	169,800	13,650	227,000	
	支出合計		15,667,026	11,397,208	1,380,691	11,975,000
	減価償却費		10,388,063	10,388,163	960,000	10,388,163
市債利子		2,750,279	2,401,932	0	2,037,703	
事務に係る人件費		4,200,492	3,545,532	295,461	3,821,160	
下田市負担年間総経費		31,628,260	26,333,933	2,594,152	26,922,026	
備考	人件費は、1公民館を1/20人工として、職員人件費平均から算出したもの 事務に係る市職人件費=(職員人件費÷職員数)×1/20人工×公民館数					
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H16年度決算	H17年度決算	H18年度決算	H19年度
		利用者数	7,022人	3,547人	5,366人	人
		参考:利用単位当たり市負担額		1,772.90円	483.44円	円
	休館日	祝日、12/28から1/3まで				
	使用時間	午前9時から午後9時まで				
13 利用者満足度調査	実施の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		調査結果		
	直近の実施時期					
	調査手法					
	調査数					

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立中公民館	番号	29
--------	----------	----------	----	----

業績評価

1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度 予算
	利用者数 の目標値	人	7,800人	7,800人	7,800人	
	" の実績	人	7,022人	3,547人	5,366人	
	目標達成度	%	90.02%	45.47%	68.79%	
選択した指標	成果指標 <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由 施設設置目的の「住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与」を計ることが困難であるため、施設利用者数を使用する。 但し平成17年度はアスベスト対策のため10月12日から3月31日まで休館した。					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標					
	代替指標	施設利用者数				

(参考)

活動指標(施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標)

活動指標			区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
活動指標	目標指標	公民館講座受講者数(実数) 定期開催事業の参加者実数 平成17年度休館期間中は 他公民館等で実施	目標値	人	150人	150人	150人	
			実績値	人	71人	60人	59人	
			達成度	%	47.33%	40%	39.33%	
	目標指標 の考え方	公民館講座は利用率向上を目的としたものではなく、必ずしも達成度を検証する数値になるとも限らないが、施設設置目的に沿った主催事業であるため活動指標として設定する。						
活動指標	目標指標	社会教育関係団体利用者数 施設利用者数のうち社会 教育関係団体の利用人数	目標値	人	3,500人	3,500人	3,500人	
			実績値	人	2,483人	1,028人	981人	
			達成度	%	70.94%	29.37%	28.02%	
目標指標 の考え方	社会教育・生涯学習行政を推進していく上で、社会教育関係団体の自主的な活動は重要視される。活動拠点は集合しやすさから市中心部に偏りがちではあるが、公民館が社会教育施設として活用されている一つの指標として設定する。							
活動指標	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
目標指標 の考え方								

平成19年度

施設名(愛称名) 下田市立中公民館

番号 29

2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H17年度 12公民館 平均値	H18年度 12公民館 平均値	H18年度	H19年度
	施設の総利用者数等		人	4,721	4,425	5,366	
	年間経費	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円	1,655,626	1,245,228	1,676,152	
	利用単位当たり経費	÷	円/人	350.69	281.40	312.36	
総利用者数等の考え方 施設の総利用総数等について用いた指標について記載してください。	総利用者数を年間経費で割り返して、効率性を計る。	備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。		平成17年度は、中公民館においてアスベスト対策修繕を補正予算で実行した。(修繕費3,475,500円)			

その他の指標			区分	単位	H17年度 12公民館 平均値	H18年度 12公民館 平均値	H18年度	H19年度
目標指数	目標指数	光熱水費	目標値	円				
			実績値	円	389,009	365,753	294,526	
			達成度	%				
目標指数の考え方	電気、ガス、水道の料金を節約することで効率性を計る。 目標値算定：H17の料金の90%とする。							
目標指数	目標指数	消耗品費	目標値	円				
			実績値	円	29,574	16,666	16,164	
			達成度	%				
目標指数の考え方	消耗品費を節約することで効率性を計る。 目標値算定：H17の料金の90%とする。							
目標指数	目標指数	委託料	目標値	円				
			実績値	円	46,872	62,519	244,592	
			達成度	%				
目標指数の考え方	委託料を節約することで効率性を計る。 目標値算定：H17の料金の90%とする。							

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H17年度 12公民館	H18年度 12公民館	H18年度
	有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	千円	19,867,518	14,942,740	1,676,152
	受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	千円	1,377,600	1,398,902	42,000
	受益者負担比率	÷	%	6.93	9.36	2.50
	補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	千円	8,023,600	6,741,902	838,000
	補正受益者負担比率	÷	%	40.38	45.11	49.99

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立中公民館	番号	29
--------	----------	----------	----	----

施設の現状分析

判断視点項目		施設の状況	
施設方向性の判断視点	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	されている。
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	公民館講座や地域住民、地区PTAの会合やイベントに活用されている。
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めていけるか	建物の老朽化を考えると今後統廃合を含めた検討が必要。
	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどうなっているのか	アスベスト処理及び耐震補強上、統廃合も含めた検討が必要
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	公民館運営審議会や公民館長会議を通じて情報を得ている。
	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	主に地域に根ざした利用がされている。
		民間においても十分可能な施設なのか	不可能。
	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうなのか	もともと社会教育施設であり実費経費との比較はできない。
		同種施設との比較、近隣施設との比較はどうなのか	よく利用されている。
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いがどうなっているのか	
		施設の耐用年数は何年有るのか	アスベスト問題、耐震補強、雨漏り対策等考えると数年か。
		施設の今後の維持経費の算定はどうなのか	
行政規模からの判断視点	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	社会教育法に基づき市が管理する公民館であるが
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	適切と思われる。
	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	検討中
	施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	ない。
		老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	今後建物の老朽化の進展によって考えなければならない。
		地域、民間に譲渡できないのか	現状では困難。
	施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	難しい。	
その他			

平成19年度

施設名(愛称名) 下田市立中公民館

番号 29

見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	社会教育法に基づく公民館である。
	受益者負担の妥当性	現在改善中であるがコストに見合った使用料設定は不可能。
	実施主体の妥当性	単なる会議室の貸し出しについては他施設可能であるが公民館事業については行政の役割。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	統廃合の検討。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	講座や事業の充実が必要。
	執行方法の見直しなどの効率化のための目標及び方策	ボランティアで活動してくれる地域の指導者等を発掘し公民館活動等に活かさないか検討中。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	貸し出し区分の見直しを図る。
査等	アンケート調査等の結果	未実施
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	規模からして管理人を常駐させたいがアスベスト対策が完全ではないため難しい。
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	駐車場の整備

平成18年度事業内容及び見直し事項

事業内容	公民館講座(俳句)
見直し事項	地域のボランティア講師の発掘や講座の受講者による同好会化の推進 指定管理者制度導入についての課内協議

平成19年度

施設名(愛称名) 下田市立中公民館

番号 29

施設懸案事項

No.	懸案事項	改善経費	備考
1	アスベスト完全除去(建物取り壊し時)	未調査	
2	浄化槽臭気排出煙突修繕	未調査	
3	冷暖房設備新設	930,000円	
4	壁亀裂補修	未調査	
5	下水道接続	827,400	19年度工事施行予定。
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

今後の方向性

今後の方向性	充実	(具体的な内容)
	効率化等による見直し 現状のまま継続等 縮小等による見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合を進める	